

# 水稻情報

(第1号)

令和7年3月26日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

- ・コシヒカリの田植えは5月15日を中心に、育苗日数は19日間以内を目安に計画的に播種しましょう。
- ・温度管理の徹底により健苗を育成し、初期生育の確保につなげましょう。

## ○育苗計画の目安

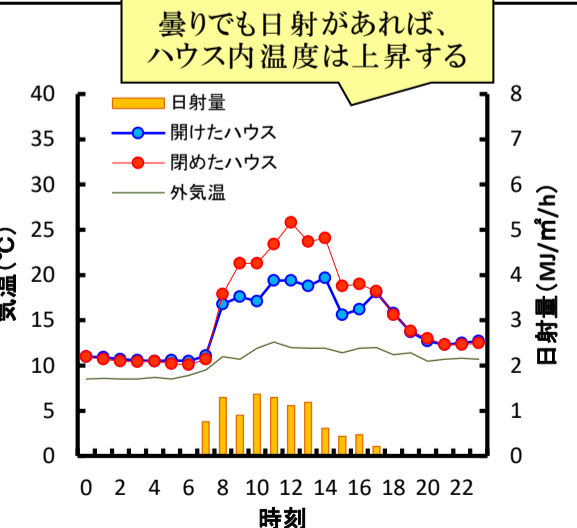
種子消毒	浸種開始	播種	田植え	育苗日数	出穂期
4/7	4/8	4/19	5/10	21日	7/31頃
<b>4/16</b>	<b>4/17</b>	<b>4/26</b>	<b>5/15</b>	<b>19日</b>	<b>8/3頃</b>
4/25	4/26	5/3	5/20	17日	8/7頃

育苗期間中の気温が以前より高くなっています。19日間以内の育苗日数で健苗の育成を！



## ○育苗のスケジュールと管理のポイント

月/日	作業	温度管理	管理のポイント												
	育苗準備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗箱はイチバンで消毒し、しっかりと乾かす。</li> <li>・ハウス内を均平化し、温度計を設置する。</li> </ul>												
4/16	比重選 種子消毒	水温 10~15℃	<p>①比重選により、充実した種籾を準備 ・発芽障害を防ぐため選別後硫酸を水で洗い流す。</p> <p>②種子消毒の徹底 【薬液の作り方】薬液は1回ごとに新しく作り浸漬する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>希釈倍率</th> <th>浸漬時間</th> <th>種籾量</th> <th>水量</th> <th>薬剤量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モミガードC水和剤</td> <td>200倍</td> <td>24時間</td> <td>10kg</td> <td>20ℓ</td> <td>100g</td> </tr> </tbody> </table> <p>・廃液は適切に処理し、用水、河川に流出させない。</p>	薬剤名	希釈倍率	浸漬時間	種籾量	水量	薬剤量	モミガードC水和剤	200倍	24時間	10kg	20ℓ	100g
薬剤名	希釈倍率	浸漬時間	種籾量	水量	薬剤量										
モミガードC水和剤	200倍	24時間	10kg	20ℓ	100g										
4/17	浸種	水温 10~15℃	<p>③浸種はあわてず播種の10日前頃から開始 ・水温×日数=積算温度100℃を確保する ・発芽を揃えるため、浸種初日は水温12~13℃とする。 ・水は2日に1回交換し、浸種期間の後半は籾を確認し芽が動いていたら終了する。</p>												
4/25	催芽	育苗器内温度 28~30℃ 20~24時間	<p>④芽の長さをこまめにチェック ・催芽を揃えるため1日に2~3回、袋を反転する ・催芽後の籾の脱水は十分に行い、籾が手に付かない程度まで陰干しする。</p>												
4/26	播種		<p>⑤播種量は催芽籾で箱当たり150g(乾籾120g)のうす播きとする</p> <p>乾籾120g播き      培土充填のイメージ(加工床土)</p> <p>軽量培土は 床土:15mm 覆土:8mmとする</p> <p>【苗立枯病対策】 (播種時のかん水を兼ねる) ナエファインフロアブル1000倍液を1箱当り500mℓ灌注</p>												
	出芽	育苗器内温度 30℃ 2~3日	<p>⑥育苗器の温度をこまめに確認(サーモスタットの使用前点検は必ず行う)</p>												
4/29	緑化	ハウス内温度 25℃を超えないよう、換気を徹底	<p>⑦芽の長さが1cmに揃ったらハウスへ搬出 ・搬出後は、覆土を落ち着かせ、緑化期間中に水不足にならない程度にかん水する。 ・搬出直後から、ハウス内の温度が25℃を超えないよう積極的に換気する。 ・第1葉が展開したら速やかに被覆資材を外す。</p>												
5/1	硬化	昼25℃以下 夜10℃以上	<p>⑧田植えの10日前からは、昼夜ともに換気(十分外気に慣らす) ・かん水は朝にたっぷりを行い、日中は床土の乾きに応じて行う。 ・かん水過多は根張りを悪くするので注意する。</p>												
5/15	田植え		⑨できる限り穏やかな気象条件で田植えを実施												



GAPチェックシート・栽培履歴の提出に備えて「栽培こよみ」に作業月日を記入しましょう

# 美味しいあおば米は、土づくりから

- 健全な土は、高品質で美味しい米を安定して供給するうえで、必要不可欠です。
- 気象変動に備えるため、土づくり資材や有機物を施用しましょう。



## 1 土壌改良資材の施用

ケイ酸の施用により高温条件下でも登熟が向上し、精玄米重や整粒歩合が高くなります(図1)。

### 【水稲に対するケイ酸の効果】

- 光合成効率が向上し、収量や品質が向上
- 茎葉や根が強くなり、倒伏が軽減
- いもち病等に対する抵抗力が向上
- 割粃が減りカメムシによる斑点米の発生が軽減

#### 【ケイ酸質資材等の標準施用量】(kg/10a)

資材名	施用量
グリーンウェイブDX	90~120
あおばフミンエース	100
スーパーケイサン+	90
シリカロマン	100
有機加里入りシリカロマン	100
鶏果良好	80~100

※各種、フレコンもあります。ご活用ください。

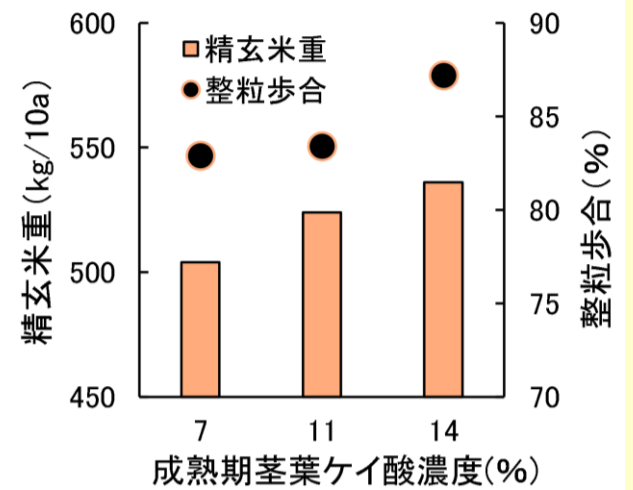


図1 成熟期の茎葉のケイ酸濃度と整粒歩合の関係

## 2 有機物の施用

堆肥や発酵鶏糞などの有機物を積極的に施用し、地力の向上に努めましょう。

#### 【堆肥施用量の目安】春施用:10a当たり

牛糞堆肥	1トン
豚糞堆肥	0.5~1トン
発酵鶏糞	75kg(復元田:150kg)

注:コシヒカリは基肥を窒素成分で1kg減肥

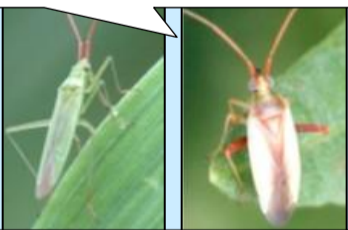
## 3 深耕による作土層の拡大

作土が浅いと根が十分伸長できず、気温や水分変化の影響を受けやすくなります。深耕により「現状+3cm」、15cm以上の作土を確保し、収量・品質を向上させましょう。

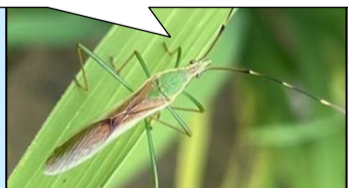
## カメムシ対策 第1回

- ・カメムシが好むイネ科雑草を春のうちに少なくすることで、カメムシの密度を抑えることができます。
- ・幼虫の餌となるイネ科雑草が穂をつけないよう、除草剤の散布や草刈りを行いましょう。
- ・除草剤を使用する場合は、周辺の作物に飛散しないように注意しましょう。

僕たちは、春に卵から孵ってイネ科雑草で繁殖するよ



春になったら、イネ科雑草に卵を産むよ



斑点米カメムシ類

#### 【除草方法と主なカメムシ類密度低減効果】

除草方法	密度低減効果		期待される効果等
	幼虫	成虫	
除草剤散布 (ザクサ、バスタ等)	○	○	・カメムシ類の密度低減効果が高い。 ・幼虫の餌となる雑草がなくなり、生存できなくなる。 ・寄主植物がないため、成虫の飛来や産卵がみられなくなる。
草刈り (出穂しないように)	△	○	・幼虫はイネ科雑草の葉だけでも発育できるが、穂がないため、幼虫の発育遅延や羽化率が低下する。 ・穂がないため、成虫の飛来や産卵が抑えられる。

(注) ○:効果が高い、△:一定の効果がある

#### 【水稲育苗ハウスで野菜等の栽培を行われる方へ】

水稲育苗ハウスで野菜等の栽培を行う場合、苗箱施薬剤は育苗ハウスから搬出した後に散布しましょう

農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底しましょう!

春の農作業安全運動実施中!(3/1~5/31)